



## モニタリングアプローチ

- [クイック プロファイル \(30 日間\) の Kubernetes ホスト サマリーの統計情報とデータのダウンロード \(1 ページ\)](#)
- [プロファイラ データ収集のアーキテクチャ \(1 ページ\)](#)
- [プロファイラのクリーンアップの実行 \(2 ページ\)](#)

## クイック プロファイル (30 日間) の Kubernetes ホスト サマリーの統計情報とデータのダウンロード

[プロファイラ ホーム ページ (Profiler Home page)] の [ダウンロード結果 (Download Results)] オプションから、クイック プロファイル (30 日間) Kubernetes ホスト サマリー統計/データ レポートをダウンロードできます。

レポートの特性:

- コンテナ/ホスト レベルのコンピューティングとストレージ容量のメトリクスが含まれません。
- ディープ ストレージまたは個々のコンテナのコンピューティング メトリクスは含まれません。
- データは CSV 形式でダウンロードされ、HX サイジング ツールのコンピューティングおよび容量のワークロードにアップロードできます。

## プロファイラ データ収集のアーキテクチャ

### Kubernetes プロファイラ データ収集のアーキテクチャの理解

プロファイラは、ルート管理者クレデンシyalを使用して Kubernetes サーバーに接続します。

アーキテクチャの特性:

- プロファイラは、Kubernetes サーバーのインベントリ情報（クラスタ、ホスト、VM、コンテナ、および基本メトリック）と、Kubernetes サーバー自体からのコンピューティングメトリックを直接収集します。
- また、プロファイラは各コンテナのディープストレージメトリックを収集し、ホストレベルでこれらのメトリックを集約します。
- Kubernetes サーバーは、ディープストレージメトリックを直接維持することはありません。プロファイラソフトウェアは、Kubernetes サーバーを呼び出し、個々のホストから（vSCSI を使用して）このデータをフェッチすることにより、コンテナごとの詳細データを取得します。次に、プロファイラはすべてのコンテナのデータを集約して、ホストレベルのサマリーを作成します。たとえば、ソフトウェアは遅延などのメトリックの最大、最小、および平均値を取得します。これには、IOPS (合計ブロック/間隔) とスループット (合計バイト/間隔) の平均値のみが使用されます。

## プロファイラのクリーンアップの実行

### Kubernetes プロファイラ コンテナのクリーンアップの実行

プロファイリング アクティビティが完了したら、プロファイラ ポッドのクリーンアップを実行するためのベストプラクティスに従って、プロファイラの完全なシャットダウンと終了を実施します。

---

**ステップ 1** 次の手順で、プロファイリングされたデータをダウンロードします。

- a) プロファイラ アプリケーションを起動します。
- b) ホーム ページからデータ (CSV 形式) をダウンロードします。 [Kubernetes プロファイリングの結果のダウンロード](#) を参照してください。
- c) 詳細な分析のために CSV を保存します。

**ステップ 2** 環境のデータのプロファイリングが不要になった場合は、名前空間を削除します。

---